

－和楽器バンド“たる募金”プロジェクト第2弾支援決定のお知らせ－

※ 2020/10/22 (木) 正午 情報解禁※

和楽器バンド

日本の伝統芸能文化をサポートする活動

“たる募金”プロジェクト第2弾が決定！

琴の街、**広島県福山市**を通して、

福山の琴工房への支援を決定！

～琴の素晴らしさを未来へ伝えよう、子供達と共に～

ユニバーサルミュージック合同会社 ユニバーサル シグマ 宣伝本部 TEL : 03-4586-2327 FAX : 03-4586-2387

拝啓 時下益々清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜わり、厚く御礼申し上げます。当社所属アーティストの和楽器バンドがスタートさせた、コロナ禍で苦境に立つ日本の伝統芸能文化をサポートする“たる募金”プロジェクトの第2弾が決定しました。

詳細は以下の通りになりますので貴社媒体にて是非ご紹介頂ければ幸いです。何卒宜しくお願い致します。 敬具



【和楽器バンド プロフィール】

詩吟、和楽器とロックバンドを融合させた新感覚ロックエンタテインメントバンド。2014年4月にアルバム「ボカロ三味」でデビュー。

2015年に発売したセカンドアルバム「八奏絵巻」はオリコン週間ランキング初登場1位を獲得し、第57回「輝く！日本レコード大賞 企画賞」を受賞。また国内外において精力的にライブを行い、2016年には初の日本武道館公演開催、海外においては北米単独ツアーを開催し、ワールドワイドに展開。2018年には5thアルバム「オトノエ」が第60回「輝く！日本レコード大賞 アルバム賞」を受賞。

2019年にはさいたまスーパーアリーナ 2days 公演を成功させ、よりワールドワイドな活動を本格的に始動させ、世界最大のレコード会社ユニバーサルミュージックとグローバルパートナーシップ契約を締結、今、日本のみならず世界中から注目を集めるアーティストである。

和楽器バンドが、日本の伝統芸能・文化をサポートする活動

“たる募金”プロジェクト。第一弾の試みとして、廃業の発表があった三味線の製造、修理を担い、国内シェア6割という有数の製造技術を持ったメーカー「東京和楽器」への支援を決定し、8/15(土)、16(日)に行われた『和楽器バンド 真夏の大会 2020 横浜アリーナ ～天球の架け橋～』での本公演の会場での、オンラインでの「たる募金」募金サイト、更に銀行振り込み口座やオンライン配信での課金システムで、総額400万円を越す募金が集まり、ライブの収益の一部を合わせた総額約800万円を東京和楽器に贈呈する形となりました。この度、第二弾として、広島福山市の福山琴をサポートすることを発表しました。和楽器バンドメンバーで箏を担当するいぶくろ聖志が、2年前に起こった大雨による水害の際、福山の琴工房へボランティアで支援したことがきっかけとなり、今回のたる募金プロジェクトに決定した。福山は福山琴として有名な街であり、毎年、「ふくやま琴まつり」を開催したり、「全国小・中学生箏曲コンクール」を開催したりするなど、小・中・高等学校での琴クラブ・箏曲部などの活動も有名である。しかしながら、2年前に起こった水害による影響や職人さんの高齢化に伴う、事業縮小などが進む中、今年に入ってコロナ禍の影響により、琴まつり及び箏曲コンクールが中止となり、演奏の機会が失われるなど、福山琴を取り巻く環境は厳しい状況である。それを聞いたメンバーのいぶくろ聖志の発案により、たる募金プロジェクトの第二弾は福山琴に対しての支援に決定。経済産業省指定伝統的工芸品にも認定されている福山琴の素晴らしさを、未来へ繋げていくために、各学校へ福山市及び琴工房を通して、琴を贈呈していく予定。今後、福山市と共同にて、この支援プログラムを実施していく予定だ。なお、今回対象となるのは、今週末から開催される「和楽器バンド Japan Tour 2020 TOKYO SINGING」の3都市4公演の各会場と、オンラインでの受付、口座振込、10/25に行われるライブオンライン配信での課金システムで受付を予定している。詳細は、下記の内容となります。引き続き、コロナ禍に負けずエンターテインメントを支えるべく、日本の伝統芸能・文化をサポートする“たる募金”プロジェクトに是非参加しよう。